

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	4		3. 文字を使い分ける				
	5	2	全国文字マップ (教科書P92-95) ◎身の回りに文字による多様な表現があることを理解することができる。[知技(3)エ(ア)]	1 教科書P92-95の写真を見て、身の回りにはさまざまな文字があることを理解し、それぞれの文字から受ける印象について話し合うことができる。 2 身近な文字を探して、特徴や印象に残っていることを発表し合うことができる。	【知】身の回りに文字による多様な表現があることを理解している。	【思】(身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。)	【態】積極的に(①)身の回りの文字を探し、(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている(④)。
	6	1	文字の使い分け (教科書P96-97) ◎身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、A(1)オ、(2)イ]	1 明朝体とゴシック体の「は」を見て、それぞれの文字から受ける印象と、その理由を話し合うことができる。 2 活字にはさまざまな書体があることを理解することができる。 3 「学習の窓」を見て、明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を確かめることができる。 4 教科書P97の新聞に使われている活字の書体と、気づいたことを空欄に書き込むことができる。 5 新聞・パンフレット・看板など、身の回りにある文字を調べて発表し合うことができる。 【学習活動の応用例】 ○教科書P82「壁新聞を作ろう」やP108「冊子にまとめよう」などを参考に、目的に応じて文字を効果的に使い分け、新聞やリーフレットを作成することができる。	【知】身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	【思】(目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。)	【態】積極的に(①)明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し(③)、学習課題に沿って(②)調べた身の回りの文字について発表しようとしている(④)。
	7	1	【コラム】UD書体って何だろう (教科書P98-99) ◎見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知ること、文字文化の豊かさへの理解を深めることができる。[知技(3)エ(ア)]	1 教科書P98のユニバーサルデザイン書体とゴシック体を比べて、気づいたことをグループで話し合うことができる。 2 「デザインの特徴」を見て、ユニバーサルデザイン書体は、より多くの人が情報を正確に読み取れるようにデザインされた文字であることを理解することができる。 3 身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を調べ、発表し合うことができる。	【知】見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。	【思】(ユニバーサルデザイン書体の使用例やゴシック体との比較を通して、文字文化の豊かさを確かめている。)	【態】積極的に(①)身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字について発表しようとしている(④)。
2 学期	9 10	2	三年間のまとめ (教科書P100-103) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア]	1 「学習の窓」を一覧し、3年間で学習したことを振り返ることができる。 2 「探究」「輝ける未来」を書くときに生かせることを話し合い、自分の課題を考えることができる。 3 自分の課題を確かめながら、毛筆で「探究」「輝ける未来」を書くことができる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】(毛筆で「探究」「輝ける未来」を写すなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。)	【態】積極的に(①)3年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めた課題に沿って「探究」「輝ける未来」を書こうとしている(④)。
	11	2	私の好きな言葉 (教科書P104-105) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、B(1)ア・ウ]	1 3年間の学習で出会った言葉や書きたい言葉を選び、選んだ理由を考えることができる。 2 書体や筆記具、用紙を決めて、下書きをすることができる。 3 3年間で学習したことを振り返り、その生かし方を考えて、好きな言葉を色紙などに書くことができる。 4 卒業記念作品として掲示し、感想を交流することができる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】(好きな言葉を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。)	【態】積極的に(①)3年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分の好きな言葉を書こうとしている(④)。
	12	2	【国語】季節のしおり3 (教科書P106-107) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)、(1)ア]	1 季節にまつわる詩歌を音読して味わうことができる。 2 これまでに学習したこと(行書の特徴／行書に調和する仮名／行書と仮名の調和／楷書の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列)に注意して、季節の言葉を硬筆でなぞることができる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。)	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。

3 学 期	1 2 3	適宜	【国語】冊子にまとめよう (教科書P108) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【知技(3)エ(ア)。(1)ア、B(1)全、(2)イ】 【発展】なりきり、書聖・王羲之(教科書P157) ◎高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを知り、学習への関心を高めることができる。【知技(3)エ(ア)】	1 学校や部活動の魅力を多くの人に伝えるために、冊子にまとめる話の材料を選ぶことができる。 2 冊子の構成を考えることができる。 3 これまでに学習したこと(行書の特徴／行書に調和する仮名／行書と仮名の調和／楷書の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列)に注意して、冊子を作ることができる。 1 「蘭亭序」を鑑賞し、これまでに学習してきた漢字が、先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解することができる。 2 教科書の「永和九年……」を鉛筆でなぞることができる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【知】高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。	【思】(冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【思】(「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相異点について考える。)	【能】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)学校や部活動の魅力を伝える冊子を作ろうとしている(④)。 【能】積極的に(①)先人の筆跡に関心をもち(③)、学習の見通しをもって(②)「蘭亭序」をなぞろうとしている(④)。
				評価方法	課題	課題	振り返りシート 課題取り組み状況 課題
合計		10					